

令和4年1月28日

## 第3回検討委員会の意見への回答

## 1 災害廃棄物処理量根拠の用語の確認(資料2-1)

## ■意見：

米ノ山断層は災害廃棄物処理計画の地震災害の対象として含まれないのはなぜか。

## ■回答：

米ノ山断層は、活動を止めており活断層として取り扱われていないためです。福岡県内では、存在が確認されている活断層は7つとされています(西山断層帯、警固断層帯、日向峠-小笠木峠断層帯、水縄断層帯、宇美断層帯、福知山断層帯、小倉東断層帯)。

出典：福岡県地域防災計画、福岡県の文化財(米ノ山断層及び石炭層の露頭)

## 2 近隣のストーカ式焼却施設を有する自治体でのプラスチック分別処理(資料5)

## ■意見：

久留米宮ノ陣および熊本菊池でのプラスチック分別回収と処理はどのようにされているのか。

## ■回答：

以降に久留米市と菊池環境保全組合のプラスチック分別回収方法を示します。

## 1) 久留米市

- ・容器包装プラスチックとして回収：食品トレイ、発泡スチロール、容器包装プラスチック(♻️マークが付いているもののみ)⇒資源化
- ・燃やすごみとして回収：汚れのついた容器包装プラ、♻️マークが付いていないもの※  
※地域により分別方法が異なる。  
久留米地域、北野地区：燃やすごみとして回収  
田主丸地区：硬質プラスチックとして回収⇒資源化

出典：久留米市ホームページ(ごみの分け方・出し方)

久留米市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成28年4月)

## 2) 菊池環境保全組合

- ・容器包装プラスチックとして回収：白色トレイ、発泡スチロール、容器包装プラスチック(♻️マークが付いているもののみ)⇒資源化
- ・燃やすごみとして回収：バケツ、洗面器、その他プラ

出典：菊池環境保全組合組合広報V o 1. 4 2

一般廃棄物ごみ処理基本計画(平成26年3月) 菊池環境保全組合

### 3 近隣市の処理方式と系列数（資料5）

■意見：

ストーカ焼却とした場合の炉の系列数は他市でどのようになっているか。

■回答：

表1に他事業のストーカ式焼却施設の規模、炉数を示します。

【表1. ストーカ式施設規模100t以上の他事業】

No	施設名	施設規模（処理量×炉数）	竣工時期
1	熊本市西部環境工場	280t/日（140t/日×2炉）	2016年3月
2	宮ノ陣クリーンセンター	163t/日（81.5t/日×2炉）	2016年6月
3	長崎市西工場	240t/日（120t/日×2炉）	2016年10月
4	上越市クリーンセンター	170t/日（85t/日×2炉）	2017年10月
5	今治市クリーンセンター	174t/日（87t/日×2炉）	2018年4月
6	エコエイトやつしろ（八代市環境センター）	134t/日（67t/日×2炉）	2018年7月
7	サンライズクリーンセンター（岩国市）	160t/日（80t/日×2炉）	2019年4月
8	桑名広域清掃事業組合 資源循環センター 可燃ごみ焼却施設	174t/日（87t/日×2炉）	2020年1月
9	クリーンセンター下田原（宇都宮市）	190t/日（95t/日×2炉）	2020年5月
10	鶴岡市クリーンセンター	160t/日（80t/日×2炉）	2021年4月
11	菊池環境工場 クリーンの森合志（菊池環境保全組合）	170t/日（85t/日×2炉）	2021年4月

以上